



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 大日本塗料株式会社
 コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6266-3102

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	46,227	16.2	1,841	57.9	2,234	51.2	1,186	58.1
2020年3月期第3四半期	55,156	0.9	4,375	6.5	4,583	3.9	2,829	5.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,235百万円 (56.2%) 2020年3月期第3四半期 2,819百万円 (4.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	41.93	41.58
2020年3月期第3四半期	99.51	98.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	78,649	45,081	53.9	1,499.19
2020年3月期	76,817	44,679	54.4	1,475.59

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 42,430百万円 2020年3月期 41,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.00	0.00	0.00	25.00	25.00
2021年3月期	0.00	0.00	0.00		
2021年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	14.0	2,500	54.9	2,900	49.9	1,500	59.0	53.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	29,710,678 株	2020年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,408,329 株	2020年3月期	1,408,275 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	28,302,368 株	2020年3月期3Q	28,430,501 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況となりました。4月に発出された緊急事態宣言の解除後は、国内の経済活動に一部持ち直しの動きが見られたものの、11月以降に感染の再拡大がみられるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績については、売上高は、国内塗料事業及び海外塗料事業では一部に持ち直しの動きがありますが、新型コロナウイルス感染症の影響により大半の事業セグメントにおいて需要が減退し、462億2千7百万円（前年同四半期比 16.2%減）となりました。利益面は、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの売上高の減少により、営業利益は18億4千1百万円（同 25億3千3百万円減）、経常利益は22億3千4百万円（同 23億4千9百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億8千6百万円（同 16億4千2百万円減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

構造物分野では、公共工事における需要は堅調に推移しているものの、鉄骨向け需要の減少により、売上高は前年同四半期を下回りました。工業分野では、建材分野など一部で持ち直しの動きがありますが、新型コロナウイルス感染症の影響による全般的な需要の落ち込みが継続し、売上高は前年同四半期を下回りました。利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は349億9百万円（前年同四半期比 12.2%減）、営業利益は10億6千9百万円（同 8億9千6百万円減）となり、減収減益となりました。

[海外塗料事業]

東南アジア市場及び北中米市場においては、4月以降における新型コロナウイルス感染症の影響の本格化に伴い、自動車生産台数が急激に落ち込みました。7月以降は自動車生産台数の回復がみられるものの、売上高は前年同四半期を下回りました。中国市場においても、主要顧客の生産調整や減産が続き、売上高は前年同四半期を下回りました。利益面では、各拠点において一般用塗料の拡販や販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は37億3千4百万円（前年同四半期比 31.8%減）、営業利益は1億7百万円（同 5億4千2百万円減）となり、減収減益となりました。

[照明機器事業]

業務用LED照明分野では、新型コロナウイルス感染症の影響による商業施設向けの需要の落ち込みが継続し、売上高は前年同四半期を下回りました。利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は51億6千7百万円（前年同四半期比 30.9%減）、営業利益は2億4千4百万円（同 10億6千4百万円減）となり、減収減益となりました。

[蛍光色材事業]

顔料分野では、新型コロナウイルス感染症の影響による海外市場を中心とした需要の落ち込みが継続し、売上高は前年同四半期を下回りました。利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は8億5百万円（前年同四半期比 20.5%減）、営業利益は4千7百万円（同 4千4百万円減）となり、減収減益となりました。

[その他事業]

売上高は16億1千万円（前年同四半期比 12.6%増）、営業利益は2億2千8百万円（同 5千9百万円増）となり、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は786億4千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億3千1百万円の増加となりました。流動資産は329億5千万円で前連結会計年度末と比較して3億6千6百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の増加13億6千8百万円、受取手形及び売掛金の減少16億6千9百万円、たな卸資産の減少5億2千7百万円、その他の増加4億5千5百万円が主因であります。固定資産は456億9千8百万円で前連結会計年度末と比較して21億9千8百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加6億9千3百万円、投資その他の資産の増加16億4百万円が主因であります。

負債は335億6千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億3千万円の増加となりました。流動負債は248億2千3百万円で前連結会計年度末と比較して8億8千8百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少7億2千8百万円、短期借入金の増加28億3千9百万円、未払法人税等の減少5億2百万円、その他の減少7億1千9百万円が主因であります。固定負債は87億4千5百万円で前連結会計年度末と比較して5億4千1百万円の増加となりましたが、これは長期借入金の減少3億円、リース債務の増加4億2千4百万円、繰延税金負債の増加5億3千8百万円が主因であります。

純資産は450億8千1百万円で前連結会計年度末と比較して4億1百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加4億7千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加8億3千5百万円、為替換算調整勘定の減少3億6千9百万円、退職給付に係る調整累計額の減少2億7千7百万円、非支配株主持分の減少2億9千万円が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月28日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,317	6,686
受取手形及び売掛金	17,172	15,503
商品及び製品	5,671	5,339
仕掛品	755	723
原材料及び貯蔵品	3,012	2,848
その他	1,421	1,876
貸倒引当金	△33	△27
流動資産合計	33,317	32,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,509	20,918
減価償却累計額	△13,660	△13,837
建物及び構築物(純額)	5,848	7,081
機械装置及び運搬具	22,642	22,750
減価償却累計額	△19,036	△19,334
機械装置及び運搬具(純額)	3,606	3,415
土地	11,805	11,717
リース資産	1,338	1,936
減価償却累計額	△700	△739
リース資産(純額)	637	1,197
建設仮勘定	1,987	1,182
その他	6,402	6,642
減価償却累計額	△4,850	△5,107
その他(純額)	1,552	1,535
有形固定資産合計	25,437	26,130
無形固定資産		
リース資産	184	174
その他	357	268
無形固定資産合計	542	442
投資その他の資産		
投資有価証券	5,575	6,783
繰延税金資産	1,982	1,774
退職給付に係る資産	9,425	9,999
その他	604	634
貸倒引当金	△67	△66
投資その他の資産合計	17,520	19,125
固定資産合計	43,499	45,698
資産合計	76,817	78,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,492	14,763
短期借入金	1,760	4,600
リース債務	270	343
未払法人税等	661	159
役員賞与引当金	73	—
製品補償引当金	334	322
環境対策引当金	—	11
その他	5,341	4,621
流動負債合計	23,934	24,823
固定負債		
長期借入金	2,400	2,100
リース債務	877	1,302
繰延税金負債	2,514	3,052
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	896	918
環境対策引当金	96	—
その他	114	67
固定負債合計	8,203	8,745
負債合計	32,138	33,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	26,841	27,320
自己株式	△1,617	△1,617
株主資本合計	36,491	36,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,617	2,453
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△164	△533
退職給付に係る調整累計額	1,935	1,657
その他の包括利益累計額合計	5,271	5,460
新株予約権	212	237
非支配株主持分	2,704	2,413
純資産合計	44,679	45,081
負債純資産合計	76,817	78,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	55,156	46,227
売上原価	38,577	32,711
売上総利益	16,578	13,515
販売費及び一般管理費	12,203	11,673
営業利益	4,375	1,841
営業外収益		
受取利息	16	17
受取配当金	189	177
雇用調整助成金	8	145
その他	191	251
営業外収益合計	406	592
営業外費用		
支払利息	39	54
支払補償費	52	17
その他	105	127
営業外費用合計	197	199
経常利益	4,583	2,234
特別利益		
固定資産売却益	3	88
負ののれん発生益	26	—
その他	0	2
特別利益合計	30	91
特別損失		
固定資産処分損	93	55
減損損失	1	73
事業構造改善費用	37	138
その他	6	16
特別損失合計	139	284
税金等調整前四半期純利益	4,475	2,041
法人税、住民税及び事業税	695	309
法人税等調整額	697	502
法人税等合計	1,393	812
四半期純利益	3,082	1,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	253	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,829	1,186

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,082	1,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	313	835
為替換算調整勘定	△110	△552
退職給付に係る調整額	△465	△277
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△262	6
四半期包括利益	2,819	1,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,525	1,375
非支配株主に係る四半期包括利益	294	△139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書に記載した「第5経理の状況 1連結財務諸表等(1)連結財務諸表 注記事項(追加情報)」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,758	5,472	7,482	1,013	53,726	1,429	55,156	—	55,156
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	634	0	17	55	707	1,793	2,500	△2,500	—
計	40,393	5,472	7,499	1,068	54,434	3,222	57,657	△2,500	55,156
セグメント利益	1,965	650	1,309	91	4,017	169	4,186	188	4,375

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額188百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

国内塗料事業

当第3四半期連結累計期間において、株式会社宇部塗料商會を新たに連結子会社としました。これに伴い負ののれん発生益26百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	34,909	3,734	5,167	805	44,616	1,610	46,227	—	46,227
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	582	0	1	52	636	1,635	2,272	△2,272	—
計	35,491	3,734	5,168	858	45,253	3,245	48,499	△2,272	46,227
セグメント利益	1,069	107	244	47	1,469	228	1,698	143	1,841

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額143百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「国内塗料」において73百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。